

令和2年度 第1回苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

- 1 日 時 令和2年6月22日(月) 14時00分～15時15分
- 2 場 所 苫小牧市民活動センター 4階 講習室A
- 3 出席者 審議会委員 9名（欠席者1名）
総合政策部協働・男女平等参画室
（室長、主査、主事2名 計4名）
苫小牧市男女平等参画推進センター長
- 4 傍聴人 1名
- 5 記 者 1名
- 6 会議次第
（1）開会 （2）苫小牧市男女平等参画都市宣言文唱和
（3）議事 （4）閉会
- 7 議事概要

（議題1）令和元年度苫小牧市男女平等参画基本計画（第3次）施策別実施状況について

事務局より、苫小牧市男女平等参画基本計画（第3次）の資料1、資料2の実施状況について説明。

また、9つの事前質問について事務局から回答。

【事前質問1】

実施状況項番5について広報活動は地味であるが重要な手段であると思う。広報活動（広報誌の各所配布・HP・ブログ・Facebookほか）で反応等どのように収集し、改善・継続に役立っていますか？アンケート形式等はいかかでしょうか？（回収率・方法は難しいが、とまチョップP付けて）。

【回答】

男女平等参画基本計画の策定時あるいは見直し時にアンケート調査を行い、広報活動の結果を数値化したしまして、改善・継続に役立てております。なお、このアンケート調査は令和3年度中に実施したいと考えております。

【事前質問2】

実施状況項番6について意識改革の機会とした学習会・講演会（講習会）・セミナー・広報活動ほか多岐にわたる啓発活動を通じて改善・継続に向けた課題等ありますでしょうか？また、同一人の繰り返し参加が多く、広く意識改革が行き渡っていないということはないでしょうか？

【回答】

意識改革の機会としたセミナー等につきましては、一人でも多くの方に参加していただくことが重要ですが、参加者を増加させることに苦慮しております。したがって、セミナーの内容ですとか、周知の方法をどのようにして行けば良いかというところを引き続き考えていく必要があります。今後とも、これまでも参加頂いている方に加え、一人でも多くの市民や企業の方に御参加頂く事で男女平等参画意識を浸透させていきたいと考えております。

【事前質問3】

実施状況項番12について小・中学校向けリーフレット配布及び相互理解教育について小学低・高学年、中学生に向けて分けて作成していますか？時間及び指導要領は教師一任でしょうか？

【回答】

リーフレットは小学校高学年向け・中学生向けで分けて作成しており、小学校高学年向けのリーフレットは小学校5～6年生にのみ配布しております。また、指導に関する時間や指導内容等につきましては、道徳の時間や特別活動において適切に扱う等、各学校で判断して活用しております。

【事前質問 4】

実施状況項番 14 について「いじめ問題子どもサミット」の参加者の選出方法は？また、7 回を超えて特筆すべきこと及び 8 回目に向けて継続すべき事項は？

【回答】

各学校代表の児童生徒 2 名の参加としており、選出方法は、各学校にお任せしております。過去 7 回の積み重ねから、各学校におけるいじめ撲滅に向けた取組が充実してきております。8 回目は、「いじめは絶対に許さない。見逃さない。」という意識の土壌をさらに育むための内容を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症に係る行事等の見直しにより、中止といたしました。

【事前質問 5】

実施状況項番 16 について学校関係者の意識の高揚は大事なことであり、純粋な小学生（特に低学年から）に対する指導が重要と思う。小学生は帰宅後に一日の出来事を家族に話すことも多く効果が期待できるのではないか。

【回答】

今年度の教職員等を対象とした研修講座の中で「学校現場における L G B T」についての講座を実施する予定でございます。本研修講座を受講した教職員が、受講内容を他の教職員に還流して偏見や差別を無くすことに対する意識の高揚を図ったり、授業等で児童生徒に学んだ内容を指導することで各家庭で話題にしたりすることができるよう、働きかけてまいります。

【事前質問 6】

実施状況項番 27 について相談者は切実な状況で来庁のケースが多いと思われ
ます。重複の機会は少ないでしょうが、相談員の複数人配置に努めていただき
たい。相談員のスキルアップも当然必要ですが、専任者の他に兼任者を配置し
て待ち時間を解消できないでしょうか？

【回答】

こども支援課では、専任の相談員に加え、DV 相談の研修を受けた職員がおり

ますので、相談が重複した場合におきましても待ち時間を発生させることなく相談対応しております。

【事前質問 7】

実施状況項番 36 について共働きの増加に伴い認定こども園及び児童センターの充実が求められていると思います。ニーズにこたえた施策と子ども食堂の運営に関する助成はしているのでしょうか？

【回答】

本市では、3歳未満児の保育ニーズが特に多く、保育の受入枠拡大が望まれていることから、第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画において、令和6年度までに認定こども園5園と小規模保育事業所6園を開設することとしています。児童センターにつきましてもお子さんが安心して遊べる場であることが求められておりますことから、多彩なプログラムによる運営を展開することにより、これまで以上に保護者や子供たちにとって安心して親しみやすく且つ健全な遊びを提供できる場となるよう運営しております。また、こども食堂へは研修や補助金等の情報提供などを通して日頃から連絡しており、イベントの後援や周知などの支援を実施しております。

【事前質問 8】

実施状況項番 38 について困難を抱えたひとり親家庭への支援について具体的に教えて下さい。

【回答】

ひとり親家庭等の自立支援のため、専門相談員による助言・指導（令和元年度実績：相談件数 1,694 件）や安心して子育てができるよう、一時的な家事援助や保育等の支援（令和元年度実績：支援回数 30 回）を行っております。また、その他の事業としまして、ひとり親世帯のみならず、養育上の課題を抱える家庭に訪問支援員を派遣し、養育に関する援助・助言（令和元年度実績：支援回数 77 回）を行い、適切な養育となるよう支援を行っております。

【事前質問 9】

実施状況項番 55 について幼稚園児対象の防火教室的なものを小学生(低学年)に拡大してはいかがでしょうか? 低学年が楽しく学習し高学年は実践的な学習が有効と考えます。

【回答】

女性消防団員は幼稚園児対象の防火教室を担当し紙芝居や寸劇などを行っておりますが、小学生にまで担当させることは負担が大きく、難しいのが現状です。小学生への防災教育の取組としましては、市内 6 小学校の希望者約 190 人が「消防クラブ」に所属し、消火器の使用方法や避難方法など防火・防災に関して学んでいます。その他にも全小中学生を対象に、避難訓練をはじめ、ゲストティーチャーによる講習や職業体験など火災予防啓発を併せて実施しておりますが、実践的な体験機会を設定することで学習効果がより高まることから、関係機関と連携を図りながら、より効果的な避難訓練等の在り方について調査・研究してまいります。

(議題2) 苫小牧市職員のための性の多様性を知り行動するためのサポートガイドラインについて

事務局より、資料3について説明。

【質問】

施策の中で審議会等の女性委員の割合について、より多くの女性の意見や知識を行政に生かすという意味と存じますが、このLGBTの概念を入れるとなると、身体の性または性自認としての男性・女性のどちらの意見を求めているのか概念はどのようにになりますか。

【回答】

両方突き詰めて行くと矛盾していきます。しかしながら、女性の意見を反映させるということは、一つには多様性を求める、少数者の意見を反映させようということをも目的として男女平等の施策として取り組んでいる。

多様性を重視するという点でまずは女性委員を増やしたいと考えます。応募された方がもしカミングアウトされている方であれば、その都度当事者と相談をして進めていきたいと考えております。

【質問】

災害時の対応についての質問です。災害はいつ何時起きるかわかりません。対策を検討していく必要がある、というだけでは、現実起きた場合どうするのか。実際にはもうすでに出来ていなければならない問題ではないでしょうか。

【回答】

各担当課において施策を考えるにあたり参考となるよう、まずは総合的なガイドラインとして示そうというものです。ガイドラインの中ではLGBT当事者が周りにいないという決め付けではなく、身近にいると考えて様々な施策に取り組んでいくことが大事だということをアピールしていきたい。日本全体、苫小牧市全体としてもLGBTの方への施策は必要だとわかっていながらも、まだまだ進んでいない現状があるため、より一層啓発が必要と考えます。

【質問】

相談窓口について苫小牧市協働・男女平等参画室及びセンターが出ているが、実際に相談の内容や年間件数などもし分かれば教えてください。

【回答】

女性相談・男女平等参画の窓口として掲載しています。ここ数年の間で苫小牧市民の方からそういったご相談を担当で受けた事例はありません。それだけ社会的認知が進んでいないのだと感じています。まずはこの社会的認知を進めていかなければならないと考えております。

【意見】

苫小牧市に当事者は実際にはいるので、カミングアウトが難しい環境だと思っています。学校教育としても、作文などでLGBTの可能性を生徒が書いたら学校側が止めてしまうという実態がありますので、学校関係者への教育が非常に意義のあることだと考えています。コロナ禍ではありますが、ぜひ行っていただきたいと思います。

【意見】

相談窓口があるということが広まっていないのではないかと考えます。相談窓口はあっても相談内容は女性相談や離婚問題に限られていると認識されていることもあるので、そういう相談窓口もあるということを広めていくということが大事だと思います。